

地球温暖化

未来のために、今できること



今年10月中旬になっても30度以上の真夏日を記録するなど、地球温暖化は私たちがその深刻さを肌で感じるまでになっています。このまま温暖化が進むと、私たちの暮らしやいのちが脅かされるリスクが高まります。

温暖化に歯止めをかけるためには、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入などによる、二酸化炭素など温室効果ガスの削減が必要です。

県では、脱炭素社会の実現に向けて、「2030年度までに県内の温室効果ガス排出量を50%削減(2013年度比)」することを目標に掲げ、企業や県民の皆さまによる取り組みを後押しするとともに、県自らも県有施設への太陽光発電設備の設置等を進めています。

しかし、脱炭素社会を実現するためには、行政の取り組みだけでなく、企業や県民の皆さまなどあらゆる主体に脱炭素を自分事として捉えて、行動していただくことが重要です。

「具体的には、いったいどうすれば・・・」と思われるかもしれませんが、難しくはありません。例えば、使わない電気を小まめに消したり、ごみの分別をしっかりと実行したりと、日常生活でのほんの小さな行動が、脱炭素につながっていくのです。

地球温暖化を止めるためには皆さま一人一人の意識と行動が大切です。「オール神奈川」で取り組んでまいりましょう。



神奈川県知事 吉野 新也



大雨や台風の激甚化

相模原市緑区の土砂崩れ(令和6年6月)



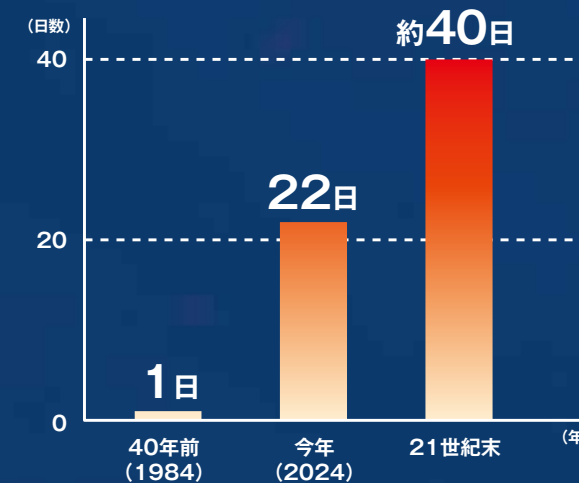
今年夏の台風第10号では、県内でも記録的な大雨の影響により崖崩れや住宅の浸水・全壊などの甚大な被害が発生しました。このまま温暖化が進むと、21世紀末には滝のように降る雨*の発生が約2倍になると予測されており、災害がさらに激甚化する恐れがあります。

*滝のように降る雨:1時間降水量50mm以上



寒川町の浸水(平成26年)

横浜における猛暑日(35℃以上)の日数の変化



出典: 気象庁 過去の気象データ、横浜地方気象台「神奈川県21世紀末の気候」を基に県で作成

熱中症や感染症の増加



高気温**35℃以上**の猛暑日が急増し、今年は22日も観測されました。熱中症による**県内の救急搬送者数**も10年前と比べて、今年は**2倍以上**の約4,800人となっています。このまま温暖化が進むと、21世紀末には猛暑日が40日程度になると予測され、熱中症のリスクが高まるとともに、気温上昇により蚊の生息地が広がり、デング熱などの感染症のリスクも高まります。



藻場の消失

海水温の上昇による生育不良、魚・ウニ類による食害、大型台風の影響などが原因で、海藻類が繁茂する藻場がなくなってしまう「磯焼け」が**相模湾全域で拡大**し、1990年と比較して**約80%の藻場が消失**しました。藻場は魚貝類などの成育場等の機能があるため、磯焼けの拡大は漁業や環境に多大な悪影響を及ぼします。



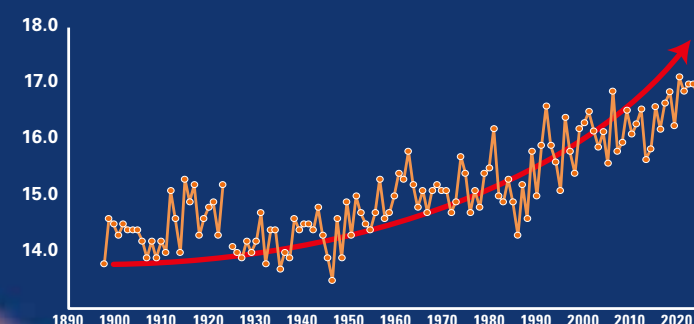
繁茂するカジメ藻場



温暖化で活発化した魚類による食害で消失した藻場

県内でも温暖化 身近な場所でも気候変動

横浜地方気象台の観測による年平均気温は、100年当たり**2.1℃**の割合で上昇する。今以上の対策を21世紀末には年平均気温が20世紀末と比べて約**4.2℃**上昇すると予測されており、**災害や食料危機、水不足、健康被害**などのリスクがさらに高まります。



横浜 年平均気温 1897-2023年
出典: 気象庁 過去の気象 データを基に県で作成

早熟カジメ移植の様子(黒岩知事)

ブルーカーボンが注目されています!

ブルーカーボンとは

藻場は海水中の二酸化炭素(CO₂)を光合成により吸収・固定するブルーカーボンとしての機能も持っており、藻場再生は温暖化対策の重要な役割を果たしています。

藻場再生の取り組み

県水産技術センターは、かつて県内沿岸に大規模な藻場を形成していたカジメ等の培養・育成技術を開発しました。中でも通常より早く成熟する早熟カジメを使うことで藻場再生を加速させるための取り組みを漁協や漁業者などと協力して行い、藻場環境の回復とブルーカーボンの増大を進めています。



農作物への影響

高温によりコメやミカンなどは、品質が低下して、味や外観などが悪くなる可能性があり、農家の収入にも影響する恐れがあります。また、市場への供給量が減少し、価格が上昇することで一般家庭への影響も懸念されます。



正常な状態

浮皮の状態

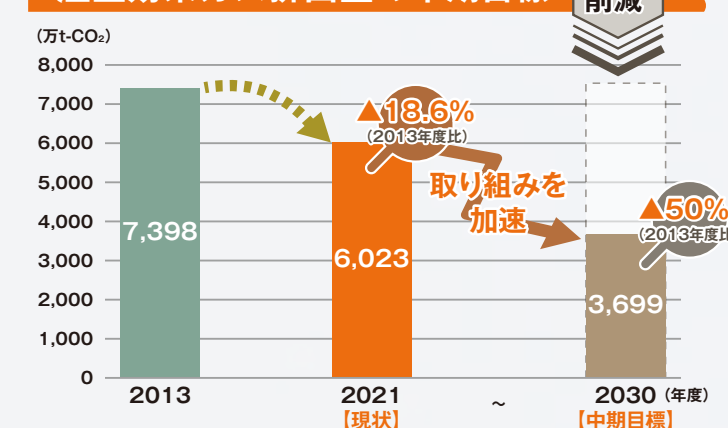
ウンシュウミカンにおいて腐敗しやすく味が淡泊になる「浮皮」が発生

温暖化をストップするためには

地球温暖化に歯止めをかけるためには、CO₂などの温室効果ガスの削減が必要です。そのため、県は2050年脱炭素社会の実現に向けて、**2030年度までに温室効果ガス排出量を50%削減(2013年度比)**することを目標に取り組んでいます。

脱炭素社会を実現するためには、企業や県民の皆さまなど全ての主体が気候変動問題を「自分事」として捉え、「オールジャパン、オール神奈川」で取り組みをさらに加速させる必要があります。

温室効果ガス排出量の中期目標



具体的な取り組みについては 46 でご紹介

【上記記事に関する問合せ】

地球温暖化全般に関することについては県脱炭素戦略本部室 ☎045(210)4065 FAX 045(210)8952、藻場再生については県水産課 ☎045(210)4542 FAX 045(210)8853、感染症の増加については県健康危機・感染症対策課 ☎045(285)0776 FAX 045(633)3770、農作物への影響については県農政課 ☎045(210)4414 FAX 045(210)8851

脱炭素社会の実現に向けて「私たちにできること」があります!

脱炭素についてはこちら
「かながわ脱炭素ポータルサイト」



今こそ 太陽光発電

太陽光発電は、発電時にCO₂を排出せず、光熱費も削減できます。地球にもおサイフにもやさしい太陽光発電! 補助金など県の支援制度を活用して太陽光発電設備を設置した皆さまの声をご紹介します。



Fujisawa SSTコンソーシアム提供

住宅用0円ソーラーを利用した方の声

太陽光パネルを共同購入した方の声

事業用太陽光発電の補助金を利用した方の声

初期費用

0円



猛暑続きの夏も自家発電で電気代が安定! 太陽光パネルや蓄電池の設置のために数百万円をかけることはハードルが高いですが、**初期費用0円**で設置することができました。高齢の父も電気代を心配せず、安心してエアコンを使うようになりました。

※月々のリース料の支払いが必要

スケールメリットで みんなでお得



災害などによる停電の不安を解消! 太陽光パネルは普通に設置すると高額なので共同購入に申し込みました。我が家のように**新築時**ではなく**後付け**でも、災害時や停電に備えて、**十分な満足と安心が得られます。**

※共同購入とは広く購入希望を募り、一括発注することで通常よりも安く購入できる仕組みのこと
※令和6年度の住宅用共同購入事業の募集は終了

コスト削減



株式会社 瀬戸水産

電力購入量を**20%削減!** 電気代が高騰している今、補助金を利用して**太陽光パネルを設置したことで、大きなコスト削減**となっています。また、脱炭素に取り組んでいることが**企業イメージの向上**につながっています。

意外と知らない太陽光発電 太陽光発電のギモンを解決!

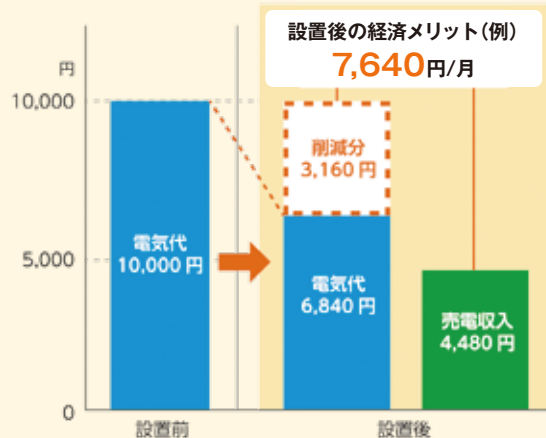


Q 太陽光発電設備を設置するにはいくらかかるの?

A 一般的な住宅(4kW)の場合、設置費用はおおよそ100万円です。

Q 太陽光発電はお得なの?

A 電気代を節約できたり、余った電力を売ることができたりするのでお得です。



設置費用は **10年程度で回収可能!**

※条件により異なります

Q 寿命はどのくらい?

A パネルの寿命は25~30年程度、発電した電力を使用するのに必要なパワーコンディショナーの寿命は10~15年程度です。

Q 「初期費用0円」の仕組みは?

A 事業者が負担するので初期費用はかからず、設置した装置のリース料や発電された電力のうち使用した分の電気料金を事業者を支払う仕組みです。

Q 停電時でも使えるの?

A 日中、晴れていて、太陽光パネルで発電している時は停電時でも電気を使うことができます。蓄電池があれば、夜間や悪天候、災害時でも電気を使うことができます。

Q 太陽光パネルを導入したらどのくらいのCO₂削減量になるの?

A 一般的な住宅(4kW)の場合、1年間のCO₂削減量は約2.12tになります。(スギの木約240本が1年間に吸収する量に相当)

太陽光発電について詳しくはこちら



今すぐ身近でできること

家庭でできるCO₂削減の取り組みには節約につながるものもあります。まずは身近なことから始めてみましょう。



冬の暖房時の室温は20℃を、夏の冷房時の室温は28℃を目安に

節約効果 ▶ 冬約1,430円/年 夏約820円/年
CO₂削減量 ▶ 冬23.40Kg/年 夏13.33Kg/年

入浴は間隔をあげずに

節約効果 ▶ 約6,190円/年
CO₂削減量 ▶ 85.19Kg/年



暖房便座の温度は低めに

節約効果 ▶ 約710円/年
CO₂削減量 ▶ 11.64Kg/年



冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変える

節約効果 ▶ 約1,670円/年
CO₂削減量 ▶ 27.21Kg/年



白熱電球から省エネ型のLEDランプに交換

節約効果 ▶ 約2,430円/年
CO₂削減量 ▶ 39.69Kg/年

これを全部実行できたら

光熱費は1世帯当たり年間約**1万4千円お得!**

CO₂削減量は1世帯当たり年間約**213kg**
県内全世帯(約440万世帯)だと年間約**94万t!**

スギ林約11万ha分の吸収量に相当
東京ドーム約2万3千個分!

※「省エネ性能カタログ2023年版」(経済産業省資源エネルギー庁)、「神奈川県地球温暖化対策計画概要版」を基に県が作成(条件によって異なる場合あり)

「かながわ脱炭素アクションフォーラム」を開催!

申込方法等はこちら



- 日時:令和7年1月11日(土) 10時~16時30分 ※一部は事前申込が必要
- 場所:新都市ホール(そごう横浜店9階)など
- 内容:○世界初のマルチメディア地球儀「触れる地球」の開発者である竹村眞一氏(京都芸術大学教授)によるセミナー
○小泉進次郎氏、竹村眞一氏、ふきたろう氏、県立高校生によるパネルディスカッション 他

今注目のペロブスカイト太陽電池とは?

かながわ発の次世代型太陽電池です。県は、早期実用化を目指し、企業と連携した実証事業を進めています!

江の島で実証中

特徴

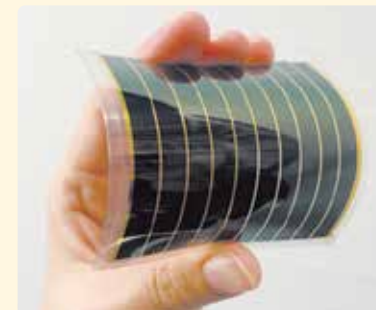
- 薄!
- 軽!
- 曲げられる!



提供:NEDO

©Getty Images

©Getty Images

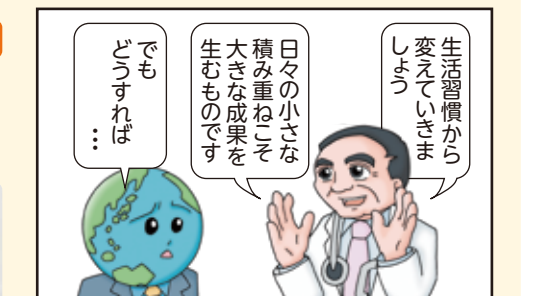
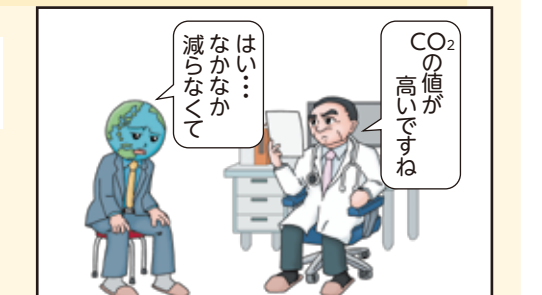


詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】 県脱炭素戦略本部室 ☎045(210)4065 〆045(210)8952

みんなでCO₂削減 地球に良いこと



西平畑公園 「松田きらきらフェスタ」

① ルミネーションが施された河津桜の散策路を抜け、ハーブガーデンからハーブ館へと進みながら24万球で彩られた光の世界を周遊できます。夜間運行するふるさと鉄道に乗って幻想的な「銀河の旅」に出てみませんか。園内からは足柄平野の夜景が一望できます。

- 所在地: 松田町松田惣領2951
- 交通: 小田急線 新松田駅から徒歩25分
- 点灯期間: 12月1・7・8・13～29日 17時～21時(入園は20時30分まで)
- 問合せ: 松田山ハーブ館 ☎0465(85)1177 (点灯期間外は水～日曜)

※入園料金がかります ※ふるさと鉄道乗車は有料です
【上記記事に関する問合せ】
県西地域県政総合センター
☎0465(32)8908 FAX 0465(32)8111

相模國一之宮 寒川神社 「迎春ねぶた」

② 年を祝い設置される「迎春ねぶた」。青森県のねぶた師の手により制作され、寒川神社に運ばれたねぶたに明かりが灯った様子は圧巻の美しさです。

- 所在地: 寒川町宮山3916
 - 交通: JR宮山駅から徒歩5分
 - 点灯期間: 12月20日～2月23日 17時～22時 (12月31日17時～1月3日は常時点灯、2月1日以降は19時まで)
 - 問合せ: 寒川神社 ☎0467(75)0004
- 【上記記事に関する問合せ】 湘南地域県政総合センター
☎0463(22)9268 FAX 0463(22)9274



迎春ねぶたが設置された神門



冬の夜に出かけよう。幻想的な光の中へ。



宮ヶ瀬湖畔園地 「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」

③ 1万個の電球で飾られた高さ30m超のジャンボクリスマスツリーが登場。大噴水のライトアップや大つり橋のイルミネーションなどが会場全体を幻想的に彩ります。また舞い上がる気球から会場を眺める乗船体験も実施。期間中はステージイベントや屋台グルメも楽しめます。

- 所在地: 清川村宮ヶ瀬940-15
 - 交通: 小田急線 本厚木駅からバスで終点「宮ヶ瀬」下車徒歩1分
 - 点灯期間: 12月25日まで 17時～22時
 - 問合せ: 宮ヶ瀬水の郷イベント実行委員会 ☎046(210)3226
- ※大つり橋の夜間通行(17時～22時)は有料です ※気球乗船体験は有料・予約制です
【上記記事に関する問合せ】 県土地水資源対策課
☎045(210)3124 FAX 045(210)8820



秦野戸川公園 「クリスマスイルミネーション」

④ 高さ35m、長さ267mの「風のつり橋」を鮮やかにライトアップ。時期によりライトの色が変わり、それぞれ異なる雰囲気が楽しめます。その他数々のイルミネーションが園内を彩ります。

- 所在地: 秦野市堀山下1513
 - 交通: 小田急線 渋沢駅からバスで終点「大倉」下車徒歩1分
 - 点灯期間: 12月7～25日 16時30分～20時
 - 問合せ: 秦野戸川公園 ☎0463(87)9020
- 【上記記事に関する問合せ】 県都市公園課
☎045(210)6224 FAX 045(210)8883

11月1日から 自転車の「ながらスマホ」罰則強化・「酒気帯び運転」罰則整備!!



ながらスマホ



スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為、画面を注視する行為の罰則が強化されました。

※停止中の操作は対象外

6月以下の懲役または
10万円以下の罰金 など

酒気帯び運転



自転車の酒気帯び運転のほか、運転手への酒類の提供や同乗、飲酒者への自転車の提供が新たに禁止され、罰則が整備されました。

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金 など

【上記記事に関する問合せ】 県くらし安全交通課 ☎045(210)3552 FAX 045(210)8953

12月11日～20日は年末の交通事故防止運動期間です
無事故で明るい新年を迎えましょう。

ともに生きる:

～今月は、SC相模原 地域連携担当 宮城 國彦さんに伺いました!～



このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

フードドライブでバトンをつなぐ! ～ジモトアイプロジェクト～

SC相模原では、Jリーグの「シャレン!(社会連携活動)」の一環として「ジモトアイプロジェクト」を立ち上げ、NPO法人やスポンサー企業と連携し、さまざまな活動を実施しています。ファン・サポーターの皆さまからいただいた食材を子育て世帯や子ども食堂に提供するフードドライブでは当初、お米や缶詰、パスタなど日持ちする食材が多く集まりましたが、最近は受け取る子どもたちを喜ばせようと、人気のお菓子を持参される方が増えるなど「ジブンゴト」として積極的にご協力いただき、感動するとともに大変感謝しています。今後もファン・サポーターをはじめとした「サッカーファミリー」と一緒に、地域の課題解決に取り組んでいきます。

SC相模原についてはこちら



試合会場が集まった食材をNPO(左)に届けるSC相模原の満洲選手(右)



ともに生きる社会 かながわ憲章 平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

憲章についてはこちら



【上記記事に関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854

「裕次郎のロウソク灯台」

(写真:横須賀市 宮崎 清和さん)

海岸で夕日を眺めていたら、沖に見える葉山灯台(愛称「裕次郎灯台」)に夕日が迫っていったもので、慌てて撮った写真です。(令和5年12月撮影)

■場所:森戸海岸(葉山町)

投稿写真募集中!
詳しくはこちら



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は11月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

登録商品を買って、未来を担う子ども・若者を支援!

未来応援、アクション



「未来応援、アクション」は、県に登録された食品などの寄付付き商品やサービスを皆さまが購入すると、企業などが売上等に応じて県または県の指定するNPO法人に寄付をする制度です。

寄付金は以下のいずれかに使われます

- 1 子ども食堂等への支援
- 2 「かながわつばさプロジェクト」
- 3 県子ども・子育て基金

一例をご紹介します

かながわ つばさプロジェクト

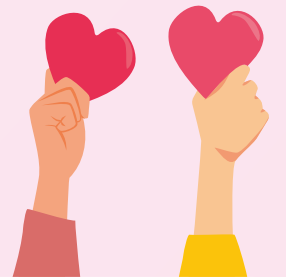
困難を抱える若者の社会への巣立ちを支援するため、寄付金を大学や専門学校等の受験費用や住居の初期費用、就職活動費用に活用しています。

登録商品について
詳しくはこちら



欲しい未来へ、寄付を贈ろう。

12月は「寄付月間」です。



遺産を神奈川県のために役立てたい!

遺贈寄付

遺贈寄付とは、自身の遺した財産を遺言によって、自治体や社会貢献団体など、相続人以外の特定の個人や団体に寄付することです。



手続き等
詳しくはこちら

16の基金・事業から好きな寄付を選ぼう!

かながわキンタロウ寄付金(ふるさと納税)

県は皆さまからの思いを施策に反映するため、かながわキンタロウ寄付金として寄付を募集し、活用しています。

一例をご紹介します 児童相談所などの子どもたちに笑顔を!

児童相談所の一時保護所や、心理的ケアが必要な子どもたちが生活する施設などで、なるべく家庭的な環境で生活できるよう、スポーツ用品やおもちゃ等の購入に活用しています。

その他の寄付先について
詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】「未来応援、アクション」については県のち・未来戦略本部室 ☎045(285)0909 FAX 045(210)8865
寄付金制度全般・遺贈寄付については県財政課 ☎045(210)2266 FAX 045(210)8805
児童相談所などの子どもたちに笑顔を!については県子ども家庭課 ☎045(210)4655 FAX 045(210)8868



45~62歳*の男性の皆さまへ

風しん無料クーポン券“使用期限”迫る! 抗体検査・予防接種を受けましょう!

原則 令和7年 2/28 まで

*昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

クーポン券はすでに住民票のある市町村から郵送されています。お手元にない場合は、お住まいの市町村へお問合せください。

風しんは感染力が強く、知らない間に感染し、他人にうつしてしまう可能性があります。妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、お腹の赤ちゃんが目や耳、心臓の病気にかかる恐れがあります。定期接種の機会がなかった男性を対象に、抗体検査・予防接種を原則無料で実施しています。

手洗い・換気・咳エチケットを徹底し、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎などの感染予防もしましょう。

詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】県衛生研究所 ☎0467(83)4400 内線2011 FAX 0467(83)4457



風しんから子どもを守る